

神の子と誘惑

(マタイ4・1～11)

一、神の子とはだれか

旧新約聖書に「神の子」ということばが出てまいります。新約に限って言うなら「神の子」はキリストを指す場合と、キリストを信じる者たちを指す場合があります。キリストを指す場合は「神の子」が単数形になっています。一つだけ、アダムを指して「神の子」と語られている箇所がありますが、ふつうはキリストを指しています。「神の子」が複数形の場合、キリストをほんとうに信じている者たちを指します(マタイ5・9、ヨハネ1・12)。

きょうのテキストの4章3節をご覧ください。すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、これらの石がパンになるように命じなさい。」とあります。《試みる者》とは「悪魔」であり、「サタン」です。その「試みる者」であり「悪魔」であり「サタン」が、イエスに向かって、「あなたが神の子なら、これらの石がパンになるように命じなさい」と語ったわけですね。「悪魔」「サタン」には、イエスが、神が遣わした「神の子」であることが分かっています。言い換えるなら、イエスがメシア(＝キリスト)であることが分かっています。だから、何とかして

メシア(＝キリスト)がなそうとしているわざを挫き、躓かせようとした。その時のイエスさまの姿はどんなだったでしょうか。1節、2節に記されています。《それからイエスは、悪魔の試みを受けるために、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。そして四十日四十夜、断食をし、その後で空腹を覚えられた。》と。すなわちイエスさまは、御霊に導かれ、四十日四十夜断食をして、人間として霊的に研ぎ澄まされた状態でした。まさしくメシア(＝キリスト)として遣わされたわざを始めるにふさわしい状態でした。それを打ち壊そうとして、「試みる者」「悪魔」「サタン」が近づいて来たのでした。

二、試みか、誘惑か

今一度3節をご覧ください。ここに《試みる者》とありますが、元のテキストのことは「ペイラゾー」です。「ペイラゾー」は、「誘惑する者」とも訳されます。「試みる者」と訳しているのが、文語訳、前田訳、口語訳、新改訳旧新版、フランシスコ会訳、聖書協会共同訳です。「誘惑する者」と訳しているのが、塚本訳と新共同訳です。私は今回、新共同訳のように「誘惑する者」の意味で受け取り、聖書の語りかけに耳を傾けてみました。そうしますと、3節の途中からですが、「あなたが神の子なら、これらの石がパンになるように命じなさい」

と、悪魔が誘惑したことになります。イエスさまは、神が人となられたお方で、時々神性(＝神の御性質)をあらわし、奇蹟を行われました。ですから、荒野にころがっていた石ころをパンに変えることもできたはずですが、そういう奇蹟を行ったら、自身の空腹を解消することもできませんし、何と云ってもパンに飢えている人たちを救い、人々はイエスをスーパースタートして持ち上げるはずですが、主イエスがなさった悪霊の追い出し、病人のいやしは、単に人々のニーズに応えられたものではありません。人々が神の恵みに出会え、罪から、すなわち神に敵対している力から救われるためでした。神の恵みに出会うためには、神の口から出る一つ一つのことばによる以外ありません。言い換えるなら、聖書のことばに養われるしかありません。

三、神の子と誘惑

神の子である主イエス・キリストは、奇蹟を行う力を自身のために用いませんでした。結果、十字架刑となり、死ぬ間際に叫ばれました。マタイの福音書は語っています。27章46節と50節です。《三時ころ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。(略) イエスは再び

大声で叫んで霊を渡された。》と。私は、マタイの福音書が一番史実に近いと受け止めています。すなわち、神の子キリストであるならできたであろう、奇蹟を行う力を、自身のためには用いられませんでした。結果、十字架上で、「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれて死なれました。ですが神は、悪魔が追いやって十字架で死なれたイエスを、死者の中から復活させられ、メシア(＝キリスト)とされました。

私共キリストを信じる者はキリストではありません。当然です。イエス・キリストを信じる者として、神の子とされた者たちです。キリストを信じている者は、キリストの足跡に従って生きるように召されています。超自然的な賜物を授かった人がいるなら、あるいは特殊な能力を授かった者がいるなら、自分のために、言い換えるなら悪魔が喜ぶように使いたいと思つ誘惑に駆られるかもしれません。そういう時はどうしたらよいのでしょうか。4章10節にあります。《そこでイエスは言われた。「下がれ、サタン。『あなたの神である主を礼拝しなさい。主にのみ仕えなさい』と書いてある。》と心する必要があります。みころにかなって、悪魔、すなわちサタンに命じる祈りは、こういう祈りでなければなりません。